「火山」投稿時原稿の見本

火山学会編集委員会*・第二著者**・第三著者***

Template of Manuscripts for the BVSJ

Editorial BOARD*, Author2 SIRNAME** and Author3 SIRNAME**

*〒113–0033 東京都文京区本郷 6–209 モンテベルデ 406
特定非営利活動法人日本火山学会事務局
The Volcanological Society of Japan, 406 Monteberde, 6–209 Hongo,
Bunkyo-ku, Tokyo 113–0033, Japan.
**〒123–1234 第二著者住所
所属機関名
Affiliation, 1–2–3 Street, City, Prefecture 123–1234, Japan.
***〒123–1234 第二著者住所
所属機関名
Affiliation, 1–2–3 Street, City, Prefecture 123–1234, Japan.

Corresponding author: Editorial Board
e-mail: kazan-gakkai@kazan.or.jp

English abstract should be written here within 600 words. Abstract should be concise and informative. Within five key words should be added below, being separated with commas. Please do not use “keywords” but do “Key words” instead in bold format. Abstract and key words are necessary for the manuscript category of “Article”, “Letter” and “Review”. Note that “Scientific Communication” does not have these.

Key words: volcano, manuscript, PDF format, submission

1. 原稿の書き方

1-1　章タイトル

章タイトルは行頭を 1 文字下げること．節タイトルも同様に行頭を一字下げる．ただし，英文原稿の場合は字下げしないので注意が必要である．章および節タイトルはボールド体である．章タイトルは前の段落から 1 行空けるが，節タイトルは行を空けない．

1-2　本文

原稿はワードプロセッサを用いて書かれた A4 版相当の PDF とすることになっている．このテンプレートは 1 行全角 30 文字，1 ページ 25 行である．刷り上がりは，B5 サイズの 2 段組となり，文字のみの場合，1 ページあたり全角で約 2,300 文字が入る．このテンプレートの 1 ページは全角で 750 文字であるので，テンプレート 3 ページ分が，刷り上がりの 1 ページ分に相当することとなる．投稿時の仕上がりページ数見積もりの目安としていただきたい．なお，編集作業の都合上，投稿時および受理後の最終原稿ともに Word 形式での提出をお願いしているのでご協力願いたい．

1-2-1　本文中の引用

本文中で引用する場合，同一著者が同年に書いた 2 つ以上の論文を引用する場合には年号の次に a, b, c,…を付けて区別する．長編の論文，単行本などの一部を引用するときは，引用箇所のページを付記する．複数の論文を括弧引用するときは，文献の年代順に並べることとする（第 60 巻 4 号までは，著者名のアルファベット順に並べていたが，2015 年に投稿細則を改訂した）．例：○については，いくつかの先行研究により～とされている（Ito, 1885; Kuroda and Yamagata, 1888b, 1889; 大隈・他, 1898; Ito, 1900a; Yamamoto *et al*., 1913; 高橋・加藤, 1921）．

1-2-2　引用文献リスト

論文末尾に付ける引用文献リストは著者の姓のアルファベット順，同一著者（共著者も含めて）のものは発表の年代順に配列する．筆頭著者が同一で，単名の論文，共著論文を配列する場合には，単名論文（年代順），2 名の著者による論文（年代順），3 名以上の著者による論文（年代順）の順に配列する．各引用文献は著者の姓名，発表年，表題，誌名，巻，ページの順に並べる．

雑誌名の略記法は，投稿細則に従うが，投稿細則に例示がないものについては，Web of Science の Journal abbreviation を参照する．なお，URL を引用する必要がある場合には，原則として引用文献リストには載せないで脚注に送る [1]．

1-2-3 文字表記

(1) 漢字と仮名の混在に注意すること．「ともに・共に・伴に」，「および・及び」，「たまり・溜まり・溜り」，「ケイ酸・珪酸」，「わかる・分かる」などの混在が多い．また，「表れる・表われる・表す・表わ

[1] 日本火山学会ホームページ．
http://www.kazan.or.jp/J/index.html

す」など，送り仮名の混在にも注意していただきたい．

(2) wt.% と wt%, vol.% と vol% などの表記については，wt.%および vol.%とする．

2. 余白

上のように，新しい章を開始するときには 1 行空ける．余白は，査読コメントや編集上の修正を記入するために必要である．各ページ，上，下，左に 2.5 cm，右に 5.5 cm 程度の余白を空けること．ページの左端には，通しの行番号を付ける．

4. おわりに

その他の詳細については，投稿規定・投稿細則を参照していただきたい．

謝　　辞

謝辞欄もこのように全角一文字文だけ字下げする．

引用文献

アシモフ, I.（玉虫文一・竹内敬人 訳）(2010) 化学の歴史．筑摩書房, 東京, 328p.

笠原順三・鳥海光弘・河村雄行（編） (2003) 地震発生と水：地球と水のダイナミクス．東京大学出版会，東京, 392p.

Koto, B. (1916a) The eruption of Sakurajima prior to 1914. *J. Geol. Soc. Tokyo*, **23**, 165–180.

Koto, B. (1916b) The great eruption of Sakurajima in 1914. *J. Coll. Sci., Imp.*

Univ. Tokyo, **38**, 1–237.

Macdonald, G. A. (1972) **Volcanoes**. Prentice-Hall, Englewood Cliffs. N. J., 510p.

Macdonald, G. A. and Katsura, T. (1962) Relationship of petrographic suites in Hawaii. In *Crust of the Pacific basin* (Macdonald, G. A. and Kuno, H. eds), 187–195. *Geophys. Monograph*, **6**, Amer. Geophys. Union, Washington, D.C.

中村一明 (1986) 火山とプレートテクトニクス. 火山, **30**, S1–S16.

Oreshin, S. I. and Vinnik, L. P. (2004) Heterogeneity and anisotropy of seismic attenuation in the inner core. *Geophys. Res. Lett.: Solid Earth*, **31**, L02613. https://doi.org/10.1029/2003GL018591

Spieler, O., Kennedy, B., Kueppers, U., Dingwell, D. B., Scheu, B. and Taddeucci, J. (2004) The fragmentation threshold of pyroclastic rocks. *Earth Planet. Sci. Lett.*, **226**, 139–148. https://doi.org/10.1016/j.epsl.2004.07.016

徳永朋祥 (2003) 地殻浅部での水の移動. 「地震発生と水」（笠原順三・鳥海光弘・河村雄行 編）, 135–154. 東京大学出版会, 東京.

Walker, G. P. L. (1980) The Taupo pumice: Product of the most powerful known (ultraplinian) eruption? *J. Volcanol. Geotherm. Res.*, **8**, 69–94. https://doi.org/10.1016/0377-0273(80)90008-6

White, S. M., Crisp, J. A. and Spera, F. J. (2006) Long-term volumetric eruption rates and magma budgets. *Geochem. Geophy. Geosy.*, **7**, Q03010. https://doi.org/10.1029/2005GC001002